慶應義塾 医学部新聞

発行所
三四会医学部新聞編集室
〒160―8582
東京都新宿区信濃町35
電話(3353)1211 内線64996
会員については会費に購読料が含まれる
発行人　武田　純三
毎月　１回20日発行

三四会ホームページ

信濃町駅前・各種診療
慶應義塾大学病院
●外来診療時間＝午前8時40分～午後12時 午後1時～午後4時（特殊外来）
●電話＝03（33353）1211（大代表）

第66回

# 東日本医科学生総合体育大会 総合優勝！

3月23日、順天堂大学小川講堂にて第66回東日本医科学生総合体育大会の閉会式が執り行われた。

79ポイントを獲得した慶應義塾大学は、2位の自治医科大学（65・5ポイント）をおさえて、見事総合優勝を飾った。男女別の成績では、男子優勝・女子第4位となった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、第62回冬競技と第63・64回は中止、第65回は部分開催となっていた東医体であるが、2023年7月28日に開幕した第66回大会は、5年ぶりに夏・冬競技通しての全面開催が実現した。優勝した6部門（弓道部、空手女子部、水泳男子部、ヨット部、ハンドボール部、ゴルフ男子部）、準優勝した3部門（硬式庭球男子部、サッカー部、ゴルフ女子部）をはじめとして、多くの部門でポイント獲得を成し遂げ、総合優勝をつかみ取り、慶應の強さを見せつけた。直近の全面開催であった第61回大会の成績は、総合第4位、女子4位、夏季競技第2位であり、今回大会の総合優勝は、その雪辱を晴らす結果となった。

閉会式には、本塾医学部体育会評議員の井上創太君（当時4年）、前東医体評議委員佐久間陽君（当時5年）、次期評議委員荒井隼太郎君（当時3年）が出席し、総合優勝に対して優勝旗、表彰状とトロフィーを受け取った。

今後の、各部のさらなる活躍に期待したい。

（5年　伊庭知里）

表彰を受ける体育会評議員

東医体閉会式全体写真

| 総合（位） | 大学名 | ポイント |
|---|---|---|
| 1 | 慶應義塾大学 | 79 |
| 2 | 自治医科大学 | 65.5 |
| 3 | 信州大学 | 58 |
| 4 | 東北大学 | 54 |
| 5 | 福島県立医科大学 | 51 |

| 男子（位） | 大学名 | ポイント |
|---|---|---|
| 1 | 慶應義塾大学 | 31.5 |
| 2 | 秋田大学 | 25 |
| | 東北大学 | |
| 4 | 福島県立医科大学 | 23 |
| 5 | 千葉大学 | 22 |

| 女子（位） | 大学名 | ポイント |
|---|---|---|
| 1 | 信州大学 | 30 |
| 2 | 福島県立医科大学 | 25 |
| 3 | 自治医科大学 | 20 |
| 4 | 弘前大学 | 19 |
| | 慶應義塾大学 | |

## 東医体冬季競技 スケート部 東医体Cリーグ3位

山梨県甲府市小瀬町小瀬スポーツ公園にて行われた東医体アイスホッケー競技では、1年生の活躍が目立った。特にリーグ戦第2戦の順天堂大学医学部戦では、1年生の藤谷和輝君が1試合に3点を決める活躍を見せた。ディフェンス陣も3人体制の苦境の中で奮闘し、不運なペナルティによるキルプレーの中を無失点で切り抜けるシーンも多く見られた。

入れ替え戦に敗れ、昨年よりリーグを下げての挑戦となったが、下級生の活躍含め収穫の多い大会であった。一方でゲーム終盤での失点が目立ち、体力不足および経験不足が浮き彫りとなった。本年度は下級生中心のチーム構成の中で、強みである得点力を伸ばしながら、2024年度東医体に向け、春大会、秋大会と経験を積んでいきたい。

（5年　菅野健志）

1年生の活躍が光った

星野君

武内君

## 医療安全貢献賞に 山元良君、冨田健太朗君、ほか２団体

慶應義塾大学病院は、毎年、医療安全に深く貢献した個人・団体を表彰しています。2023年度は、山元良君（救急科85回）、冨田健太朗君（小児科89相当）、放射線技術室、虐待防止委員会に医療安全貢献賞を授与しました。

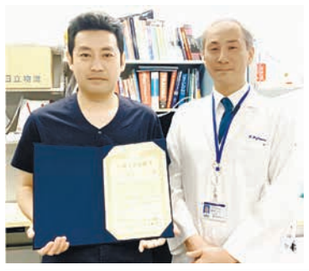
山元君は、院内急変対応、虐待対策、医療事故調査等への貢献が、冨田君は、小児領域の検査の安全、身体抑制軽減、Rapid Response Systemの確立等への貢献が評価されました。放射線技術室は、検査レポート未読対策への先駆的・精力的な取組みや、インシデントに基づく実践型研修により改善活動の模範を示したことなどが評価されました。虐待防止委員会は、多部門の医師、看護師・助産師、ソーシャルワーカー等から構成され、児童、周産期、DV、高齢者、障碍者の各領域で、虐待疑い事例やハイリスク事例に対応し（昨年度実績507件）、虐待防止の要として活躍したことが評価されました。

当院は今後も医療安全への尽力と医療安全文化のさらなる醸成に取り組んでまいります。

（医療安全管理部　藤澤大介　77回）

小児科：冨田健太朗先生

救急科：山元良先生



放射線技術室の皆様

虐待防止委員会の皆様

## 北里記念式の挙行について

初代医学部長北里柴三郎先生の93年祭にあたり、医学部と三四会との共催により、下記のとおり北里記念式を執り行うことになりました。三四会の皆様方のご列席の程をお願い申し上げます。

記

日時　６月12日（水）午後３時～午後４時30分予定
会場　北里講堂

医学部長　金井　隆典
三四会長　武田　純三

## 慶應義塾赤倉山荘管理人 望月さんファミリー大感謝祭

慶應義塾赤倉山荘は一度焼失しましたが、1994年11月に再建されて現在の姿になりました。2024年3月、再建から約30年、管理人として赤倉山荘を支え、多くの利用者にとっての心の故郷にしてくれた望月さんご夫妻が退職されることになりました。お二人の温かいホスピタリティーと素晴らしいお人柄を愛する多くの方々が集まり、2024年4月17日夜、慶應病院11階ザパークにて「望月さんファミリー大感謝祭」が開催されました。

望月さん夫妻（中央）のために集まった人たち

武田純三君（三四会会長）の開会のご挨拶、赤倉山荘のヘビーユーザーでもある天谷雅行君（慶應義塾常任理事）の乾杯に引き続き、多くの赤倉山荘ファンの皆さまが旧交を温められました。菅沼安嬉子前連合三田会会長からは赤倉山荘再建当時のお話をいただきました。ご来賓として関根謙君（三田文学編集長、元文学部長）、石手靖君（慶應義塾大学体育研究所教授）からご挨拶をいただきました。

新管理人の川本さん夫妻

エンディングセレモニーとして望月さんと奥様への感謝状が楊浩勇君（眼68回、赤倉山荘運営副委員長）から、記念品の三色旗のペナントが秋葉庸平君（内94回、赤倉山荘運営委員）から、花束が添田江津子君（看護医療学部准教授、赤倉山荘運営委員）から贈呈されました。望月さんご夫妻から多くの思い出と感謝のお言葉をいただき、新しい管理人の川本さんからもこれからの力強い抱負をお話いただきました。元応援指導部の山上淳君（皮77回、三四会理事）の紹介で元応援指導部の小山太輝君（慶應義塾幼稚舎教諭）のリードによる若き血の合唱とエールで感謝祭は最高潮に達しました。最後に渡辺真純君（三四会副会長）のご挨拶で閉会となりました。

再建以来30年もの間、山荘と多くの人々の交流を守ってくださった望月さんご夫妻のご貢献を再確認しました。また、ご出席してくださった多くの方々の素晴らしい笑顔を見て、これからも赤倉山荘が慶應社中の交流を活発にする場になることを予感しました。

（赤倉山荘運営委員長　深川和己（眼68回））

### ■望月さん大感謝祭に参加して

望月光男さん、香代子さん、麻帆さん、長い間お疲れ様でした。今回参加させていただいて、望月家皆さんの人柄を改めて感じました。こんなにたくさんの人たちが、良き思い出を胸に感謝の気持ちいっぱいで参加されているのも実感いたしました。

武田会長をはじめ、天谷様、菅沼様他、たくさんの皆様に声をかけていただき、顔見知りになったことは大収穫でした。また、吉岡様他、いろんな人に赤倉山荘での思い出も聞かせていただきました。

これからは、赤倉山荘管理人のバトンを望月さんから渡されましたので、しっかり握って走り続けたいと思います。妙高高原赤倉山荘にて、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

望月さん、まだまだたくさん教えていただくことがありますので、いつまでもお元気でいて下さい。

（新管理人　川本　武）

### ■ホスピタリティに感謝して

望月様ご夫妻とお嬢さまには、30年という長い間お世話になりました。御礼申し上げます。お爺様が焼失前の赤倉山荘の管理人を務めていただいており、その関係で赤倉山荘が再建された当時から、管理人を務めていただきました。山荘の運営には、建物の維持、利用者の募集、管理者の3つがそろっている必要があります。異なった職からの転職で、当初は困ったことも多くあったでしょうし、困った宿泊客も多くいたかと思います。素晴らしいホスピタリティが多くの宿泊者を招いたと思います。30年間しっかりと守っていただいたことに、ただただ感謝の念しかありません。これからは川本様にお願いすることになります。よろしくお願いいたします。

（三四会長　武田純三　52回）

### ■赤倉山荘開設の思い出

私が学生の時は赤倉山荘が消失していたので存在すら知りませんでした。30年後に三四会理事会に入れていただいたら再建の話題で持ちきり。先輩方がいかに楽しい時間を過ごされたかがひしひしと伝わりました。私も巻き込まれ開設委員となりました。寄付金は揃ったので、建物、内装などです。新潟市役所は雪深い場所の建築に慣れている地元の業者を使ってほしいと言いました。慶應にはゼネコン大手がそろっていたのですが、今考えれば妙高を背景にしっくり溶け込んだ建物で良かったです。家具、食器、布団など女性理事は一人なので主に私に任されました。高価でしたが西川の羽毛布団を今でも喜んでもらっています。そして私たちに沢山の思い出を作ってくれた管理人望月さんご夫妻に沢山の感謝を伝えたいと思います。

（菅沼安嬉子　47回）

### ■心のふるさと、赤倉山荘

赤倉山荘は多くの方々にとって、特別な場所であり、私たち家族にとっても例外ではありません。毎年お正月の休みを山荘で過ごし、望月ご夫妻とお嬢様の暖かいおもてなしを受けることが楽しみでした。特に、赤倉山荘でのおせち料理は、我が家のお正月の風物詩となっており、望月ご夫妻の手によって作られた料理は、心に深い思い出を残しています。一日思う存分スキーを楽しみ、疲労した体をいやしてくれる温泉、そして、おいしい夕食は格別でした。そこで普段なかなかお会いできない三四会の先生方とも家族ぐるみで知り合う事ができたのも、山荘ならではの出来事でした。30年近く私達の「心のふるさと」を暖かく提供し続けていただいた望月ご夫妻のご尽力とご奉仕に心から感謝いたします。

（常任理事　天谷雅行　64回）

### ■集った27年間

この度は、とても愉快な「望月さん大感謝祭」へお招き頂き、誠にありがとうございました。皆様の御陰で公私共に大変にお世話になった望月様御夫妻、そして御嬢様に御礼の御挨拶をさせて頂くことができました。私は、1997年から春夏秋冬27年間、赤倉山荘を利用させて頂きました。その中で、学生総合センター企画「スキーとスノーボードの集い」においては、2007年（第21回）から2017年（第31回）まで、多くの塾生がお世話になりました。望月様の存在なくしてこの企画の成功はなかったと確信しています。本当にありがとうございました。そして、新しく管理人を御引受け頂いた川本武様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

（慶應義塾大学体育研究所教授　石手　靖）

### ■僕らの心の故郷――赤倉山荘

赤倉に通って14年、家族や友人との色々な思い出がここに刻まれています。素敵な山荘を提供してくれた三四会にはただただ感謝。慌ただしい毎日の中で、スキーと温泉の響きのなんと魅力的なことか。山荘に到着すると必ず待っている望月さんご夫妻のあの笑顔、いっぺんに暖かい安らぎに包まれ、まるで実家に帰ったような気分にひたりました。赤倉山荘は僕らの心の故郷なのです。それは望月さんご一家のお人柄、献身的なご尽力によってもたらされる至福の時間で、様々な人々との豊かな交わりは慶應らしいコミュニティのつながりそのものです。これからは管理人の職務を離れた望月さんと、スキーにゴルフに楽しい時間をご一緒したいと願っています。

（『三田文學』編集長／慶應義塾大学名誉教授　関根　謙）

### ■望月さんとの思い出

赤倉山荘管理人の望月さんご夫妻とは30年来のお付き合いとなりました。望月さんは東海道新幹線の花形運転士さんから管理人さんと成られ、スキーは指導員の腕前、ゴルフもお上手、山荘の素晴らしい食事を奥様と一緒に調理され、大型ブルドーザーを駆使して大雪の日も駐車場の雪かきをされるなど、正に我々赤倉山荘好きにとっての スーパースターです。何といっても凄いのは山荘を30年間に渡り守っていただき、ピカピカに維持管理されたことだと思います。これまではお忙しくて一緒にスキーをする機会がありませんでしたが、来シーズンからはゲレンデにご一緒させていただき、我々にスキーを教えてください。長い間、大変ありがとうございました。

（三四会副会長（赤倉山荘担当）　渡辺真純　外64回）

2024年度坂口光洋記念慶應義塾医学振興基金
医学国際交流事業募集

【申請区分別募集内容】

A区分【A-1 短期海外留学プログラム/A-2 短期海外研究活動 費用補助】
(A-1 1件上限50万円/A-2 1件上限30万円)A

| 区分 | A-1:短期海外留学プログラム | A-2:短期海外研究活動 |
|---|---|---|
| 申請資格 | 慶應義塾大学医学部生（全学年） | 慶應義塾大学医学部生（全学年）<br>医学研究科大学院生（修士・博士課程） |
| | 医学分野の研究・学習のために海外へ短期留学するもの（もしくはそれに準ずるもの）（海外大学主催のサマーセミナー等を含む） | 共同研究を展開していくために指導教授の指示により海外へ短期研究活動・留学するもの<br>※医学部生については同じ渡航先に対して石井石橋基金による奨学金との併用はできない。 |
| 対象期間 | 授業・試験等正課のない夏季休暇期間 | 2024年4月～2025年3月帰国分（予定を含む）<br>※医学部生については原則として授業・試験等正課のない期間（渡航の可否を応募前に学生課に相談のこと）<br>※修士課程については授業に差し障りのない時期 |
| 申請期限 | 2024年6月10日（月）正午 | 2024年11月22日（金）正午 |

B区分【医学部公認団体の国際交流活動 費用補助】(1団体上限20万円)

| | |
|---|---|
| 申請資格／補助内容 | 慶應義塾大学公認学生団体(医学部) |
| | 2024年度の補助対象の活動に直接関係のある支出 |
| 申請期限 | 2024年 11 月 22日（金）正午 |

C区分【国際学会参加 費用補助】(現地開催、1件上限30万円)

| | |
|---|---|
| 申請資格 | 慶應義塾大学医学部生 / 医学研究科大学院生(修士・博士課程)で、筆頭発表者として2024年4月～2025年3月開催分（予定を含む）国際学会へ参加する者 |
| 補助内容 | 現地開催のみ：学会開催地への往復航空券運賃、学会参加費（懇親会費は除く）、宿泊費 |
| 申請期限 | 2024年 11月 22日（金）正午 |

申請方法：医学振興基金HPのオンラインフォームより申請ください。
詳細は下記、医学振興基金HPをご確認ください。
https://www.ms-fund.keio.ac.jp/international
問合せ先：医学振興基金事務室　内線 62377　k-msf@adst.keio.ac.jp

## 鑑識知来

近年、日本では物価上昇、失業率や外国人労働者の増加などを背景とする生活困窮者の増加が顕著であり、その影響が救急医療の現場にも及んでいることを実感する。

まず、消費者物価指数（CPI）で示される物価は、過去10年間で約10％増加している。平均年収も緩やかに増加しているが充分とは程遠く、所得格差や消費税率アップもあり、低所得層や困窮者にとっては生活費負担が増すことで医療費の支払いを困難にしている。また、失業率や生活保護受給者も増加傾向で、2023年の失業率は約4・5％、生活保護受給者は約200万人であり、社会的貧困の指標ともいえる。

救急医療はこうした社会的背景を強く反映する。生活困窮者や社会的弱者は疾病リスクが高いうえ、医療費の負担も大きいため受診を躊躇い、重篤化してから救命救急センターに搬送されるケースも珍しくない。

さらに、少子高齢化に伴い労働力確保のために外国人労働者の数が増加しており、2023年時点で約174万人の外国人労働者が日本に在留している。しかし、彼らの賃金や生活環境は必ずしも適正とはいえず、言語・文化や医療制度の違いから医療アクセスが難しい場合があり、日本人の生活困窮者と同様に医療弱者となる傾向がある。

このような多様性を尊重し、地域や文化に応じた適切な医療サービスを包括的かつ公平に提供することは不可欠であり、健康格差の解消や医療の質の向上を目指す取り組みが必要だと考える。

経済水準と健康水準は密接に関連するが、いまや日本のGDPはドイツに抜かれ世界4位となり、円安、出生率低下、ウクライナ紛争や中東情勢など日本経済に明るい兆しは乏しい。日本が先進的な技術を持つAI、デジタル化、バイオテクノロジー、ロボティクス分野等で環境に配慮した持続可能な成長を通して経済の復興を達成し、社会全体の健康と福祉が向上することを期待したい。

（川崎市立川崎病院　救命救急センター・救急科　上野浩一　80回）